23　　不吉な彗星　　　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　文法　反語形①

読解 具体的内容をつかむ

新傾向 関連資料と対比する

　春秋時代、がのに仕えていた時に、夜空に不吉な前兆である（）が現れた。

　景　公　　、「堂　　①　　　。」群　臣　皆　、晏　　。公　　、「彗　星　㆓　東　㆒、　　分　㆒。㋐寡 人　　。」晏　子　、「君、レ　レ　、　　レ　レ　得、刑　　レ　レ　。茀　星　レ　。②彗　星　　　　。」公　、「レ　㋑否。」晏　子　、「㆔　　㆓　　而　㆒、亦　㆓　　而　㆒也。　　苦　　レ　　。　君、　一　　一レ　、③安　能　勝　衆　口　乎。」　時　景　公　　㆓　宮　㆒、㆓ 狗　㆒、　、　レ　　レ　。　④晏　子　レ　　　。

* 語注

堂堂＝宮殿の立派なさま。

分野＝地上の領域に対応させた空の区分。

高台深池＝宮殿を豪華にすること。

賦斂＝税を取り立てること。「賦」は租税の一種。

使神可祝而来＝神にして来させることができるならば。

一人＝ここでは「一人の神官」の意。

衆口＝多くの人々が言うところ。

狗馬＝自分の言うことを聞く家臣。

【原文】

景　公　嘆　曰、「堂　堂　誰　有　此　乎。」群　臣　皆　泣、晏　子　笑。公　怒　曰、「彗　星　出　東　北、当　斉　分　野。寡　人　以　為　憂。」 晏　子　曰、「君、 高　台　深　池、賦　斂　如　弗　得、刑　罰　恐　弗　勝。茀　星　将　出。彗　星　何　懼　乎。」 公　曰、「可　祓　否。」晏　子　曰、「使　神　可　祝　而　来、亦　可　祓　而　去　也。百　姓　 苦　怨　以　万　数。而　君、 令　一　人　祓　之、安　能　勝　衆　口　乎。」 是　時　景　公　好　治　宮　室、聚　狗　馬、奢　侈、厚　賦　重　刑。故　晏　子　以　此　諫　之。

問一　次の「内容わしづかみ」の空欄に本文中の漢字を書き入れよ。

景公は〔　　　　〕が出現したことを恐れたが、晏子はこれを笑った。晏子は、彗星の出現は凶兆ではあるが、それよりも景公の悪政による民の〔　　〕しみや〔　　〕みを恐れるべきだと指摘した。

問二　波線部㋐・㋑の読み方を、ひらがなで答えよ。（現代仮名遣いでよい。）〈４点×２〉

㋐〔　　　　　　　　　　〕　㋑〔　　　　　　　　　　〕

問三　チェック問題　［反語形①］

⑴次の表を完成させよ。〈１点×３〉

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 如㆓㆒ | | 如 | |  | |
| ～をどうしようか、いやどうすることもできない。 |  | どうして～か、いや～ない。 |  |  | 安くにか～︹せ︺ん（や） |

⑵次の文の傍線部を語注を参考に、現代語訳せよ。〈２点×２〉

1　我　適　 矣。（適帰＝身を落ち着ける）（史記）

２　　兮　 兮　奈㆑ 　。（若＝お前）（史記）

１〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

２〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

問四　傍線部①の解釈として最も適当なものを選べ。〈６点〉

ア　誰がこの立派な宮殿を保ち続けていくのだろうか。

イ　誰もこの立派な宮殿を保ち続けることはできない。

ウ　誰でもこの立派な宮殿を保ち続けることができるだろう。

エ　誰もこの立派な宮殿を保ち続けようとはしない。

〔　　　〕

問五　傍線部②を現代語訳せよ。ただし「懼」は「恐れる」という意味の動詞である。〈６点〉

　〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

問六　傍線部③を書き下し文にせよ。〈５点〉

　〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（。）と。〕〕

問七　傍線部④とはどういうことか。四十字以内で答えよ。〈12点〉

　〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

問八　次に挙げた【資料】は、『世説新語』の一節である。「彗星（長星）」に対する、本文の「景公」と【資料】の「孝武（孝武帝・晋の皇帝）」のそれぞれの態度を説明したものとして、最も適当なものを選べ。〈６点〉

【資料】

　太　　末、　　。孝　武　心　　レ　。夜　　　　　レ、　　　　、「長　、　　　　㆒。レ 古　　　　万　　天　子㆒。」。

（注）　太元＝晋の年号。三七六～三九六年。

　　　　華林園＝庭園の名。

ア　景公は彗星が現れたことで国が滅びてしまうのではないかと危ぶんでいるが、孝武帝も彗星の出現が何か悪いことの起きる前兆であると思い、彗星と対等に酒を酌み交わして自らの寿命が短くなってしまったとしても仕方がないと諦めている。

イ　景公は祈禱することによって彗星がもたらす戦乱で国が滅ぶことを避けようとしているが、孝武帝も彗星の出現が国が滅びる前兆であると考え、彗星に酒を供えることで自らの命だけでも長らえることができればよいと願っている。

ウ　景公は彗星が出現したことで、自らの過失を未然に防いで国を守ることができたと安心しているが、孝武帝は彗星の出現によって自分の命が失われ、国が滅亡するという不安が生じたため、彗星とともに酒を飲んで気を紛らわせようとしている。

エ　景公は彗星が出現したことによって自分の命がなくなるのではないかと思い、周囲の人々を巻き込みながら慌てふためいているが、孝武帝は彗星が本来は幸いをもたらすものであるとして、酒をたしなみながら心静かに過ごしている。

〔　　　〕

【解答】

問一　彗星（茀星）／苦／怨

問二　㋐＝かじん　㋑＝いな〈４点×２〉

問三　⑴〈１点×３〉

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 如㆓㆒ | | 如 | |  | |
| ～をどうしようか、いやどうすることもできない。 | ～を如何せん | どうして～か、いや～ない。 | 如何ぞ～︹せ︺ん（や） | どこに～か、いやどこにも～ない。 | 安くにか～︹せ︺ん（や） |

⑵　１＝どこに身を落ち着ければよいだろうか、いやどこにも落ち着ける所はない。

　　　２＝お前をどうしようか、いやどうすることもできない。〈２点×２〉

問四　イ〈６点〉

問五　どうして彗星については恐れるものでしょうか、いや恐れるものではありません。

〈６点〉

問六　安くんぞ能く衆口に勝へんや（。」と。）〈５点〉

問七　彗星の話を用いながら、多くの人民を苦しめている景公の悪政を戒めたということ。（38字）〈12点〉

問八　ア〈６点〉

【現代語訳】

景公が嘆いて言うことには、「（宮殿は）堂々と立派であるが、誰がこれ〔＝宮殿〕を保持するだろうか、いや誰も保持しない。〔＝斉が滅んでしまう。〕」と。群臣は皆泣いたが、晏子だけは笑った。景公が怒って言うことには、「彗星が東北の方角に出て、斉を指す区分にあてはまった。（だから）私〔＝公（景公）〕は心配事に思っているのだ。」と。晏子が言うことには、「あなた様は、宮殿の台を高く池を深くし（豪華にし）、租税を取り立てる際は、手に入れていないかのよう（に欲深いもの）であり、刑罰は（すべてを）しきれないことを恐れる（ほど多い）。（だから）茀星は現れようとしています。どうして彗星（茀星）については恐れるものでしょうか、いや恐れるものではありません。」と。公が言うことには、「祓うことができるかどうか。」と。晏子が言うことには、「（あなた（公・景公）が）神に祈禱して来させることができるならば、同様に祓うこともできるでしょう。（しかし）人民が苦しみ恨むことは万を数える（ほど多い）のです。そしてあなた様が、一人の神官にこれ〔＝彗星〕を祓わせても、どうして多くの人々が言うことに堪えられるでしょうか、いや堪えられません。」と。この時、景公は好んで宮殿を（豪華に）築き、自分の言うことを聞く家臣を集め、度を過ぎたぜいたくをして、税を重くして刑罰も重くした。そのために晏子はこの話によってこれ〔＝景公の行為〕を戒めたのである。

【書き下し文】

じてはく、「たれどもかをたんや。」と。けども、のみふ。りてはく、「にでて、のにたる。てひとす。」と。はく、「、をくをくし、はざるがごとく、はへざるをる。にでんとす。ぞれんや。」と。はく、「ふべきやや。」と。はく、「をしてしてるべからしめば、ひてるべきなり。のすることをてふ。うして、をしてをはしむとも、くんぞくにへんや。」と。のみてをめ、をめ、にして、をくしをくす。にをてをめしなり。

【資料】書き下し文

の、る。だをむ。にをみ、をげてにしてふ、「や、にのをめん。よりれのにかのらん。」と。

【資料】現代語訳

晋の太元の末に、彗星が現れた。孝武帝は心中たいそうこれを憎んだ。夜、華林園で酒を飲み、杯を挙げて星に差し出して言うには、「彗星よ、お前に一盃の酒を勧めよう。昔からいつの時代に万年の寿命を得た天子がいるだろうか、いやいない。」と。

【補充問題】

問１　傍線部②をすべてひらがなで書き下し文にせよ。

問２　傍線部③の解釈として、最も適当なものを選べ。

ア　どんなことも民衆が安んずることにまさるものはない。

イ　どうしても民衆の言うことに堪えることができない。

ウ　どうして民衆の言うことにたえることができないのか。

エ　どの点においても民衆の訴えを覆すことができない。

問３　傍線部④の「此」と「之」は、どのようなことか。それぞれ五字以内で答えよ。

【補充問題解答】

問１　すいせいなんぞおそれんや（。」と。）

問２　イ

問３　此＝彗星の話

之＝景公の行為（悪政）